

経営戦略を支える経営監査の手法

～経営層とバッティングしない経営監査の捉え方と実務展開

「内部監査実務マスター・コース」〔第9回開催分（全9会合）〕

●日時● 2019年5月9日（木）14:00～17:00

●会場● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』

●講師● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

20年近く会計監査に従事した大手監査法人では監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動（国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他）にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査等に特化し、アンダーセン消滅後はPwC（中央青山監査法人）で活動した後、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人（E&Y）で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS（不正対策・係争サポート）部長等を歴任し、2012年、シニアパートナーを早期退任して、ボルボ・グループで日本の内部監査統括および同グループ会社UDトラックス㈱の監査役に就任。現在も監査役業務の他に藤井範彰公認会計士事務所として監査や不正関連の講演や研修及び執筆活動を続けている。最近の著書「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」（同文館出版2016年）で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会2012年、論文「内部監査のアシュアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

●プログラム●

■講義／ 経営戦略を支える経営監査の手法 <14:00-16:30>

業務監査に比べると、経営に近い領域で問題を提起し改善を促す経営監査は、経営へのインパクトが大きく、貢献度も高いのは当然です。しかしその実務は日本ではあまり根付いておらず、むしろ内部監査の守備範囲を逸脱するとみなして遠ざけたり、経験・ノウハウ不足でうまくできていないケースが見られます。こうして経営監査の捉え方・進め方が実務のネックになっている状況を踏まえて、今回は経営監査が理論的にも内部監査の枠内できちんと説明でき、かつ実務的にも経営戦略を支援する活動として十分展開可能だということを実際の進め方を紹介しながら解説いたします。

典型的な経営監査とは、この事業部がなぜ赤字から脱却できないのかとか、この子会社はどのようなビジネス構造で事業に失敗したのかなどの疑問に対して事業体全体のビジネスモデルやリスクの分析から解決の方策をさぐるという監査です。これをビジネスモデル型経営監査と位置付けてその考え方やアプローチを解説し、事例などを通して具体的な方法を検討します。

1. 経営監査の切り出し方 —業務監査との違いをサポートする論理と実務の整理
2. ビジネス・アプローチ型経営監査の進め方 —監査アプローチと留意点
3. 経営監査の指摘や改善提案の事例解説 —実際例から理解する経営監査のポイント

■講義をペースとしたディスカッション&総括コメント <16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。
http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 080-2102-1604(居代)/FAX 03-5215-0951

180188	2019 5/9 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			